

女性研究者グローバルエンカレッジング

産総研男女共同参画室では、2007年7月から2010年3月まで科学技術振興調整費（女性研究者支援モデル育成）事業として「女性研究者グローバルエンカレッジング」に取り組んでいます。この事業は、理事長を総括責任者として実施しています。

1. 概要

産総研においては、フレックスタイム制や裁量労働制といった労働時間制度の柔軟化、一時預かり保育施設の充実や出張期間内における一時預かり保育制度といった積極的な取り組みを行い、女性研究者にとって以前より働きやすい環境となっています。しかし女性研究者が長期にわたって活躍するためには、子育て・介護などにより限られた時間内で、研究実績を積み重ね、実力をつけなければなりません。このような状況は、産総研に限らず、周辺の研究機関や大学でもあると思われます。

そこで、この事業ではより多くの女性研究者に効果のある支援を実現するために、組織を超えたコンソーシアムオフィス（DSO）を立ち上げました。このダイバーシティ・サポート・オフィス（DSO）は、育児や介護中でも研究実績を積み重ねられる環境を整備したり、研究に対する意欲を維持し触発する取り組みを行います。そして楽しく自信にあふれた女性研究者を増加させることを目指しています。DSOでは、加入機関の間で組織を超え、育児・保育施設などの実践支援のノウハウの提供、セミナーなどの意欲触発支援事業への参加、他機関

との情報共有など男女共同参画事業に関するネットワーク作りを行っています。

2. 事業内容

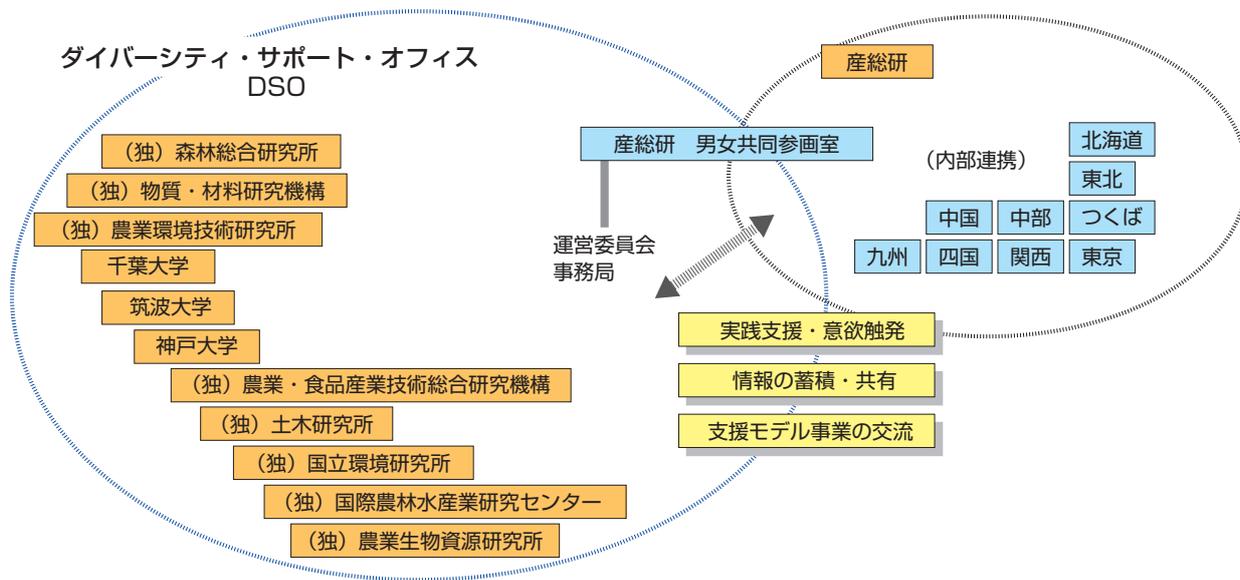
概要で述べたようにDSOの取り組みは実践支援と意欲触発の2本柱で構成されています。

1) 実践支援

研究環境の整備など、女性研究者がワークライフバランスを実現し、その能力を十分に発揮しつつ研究活動を行える制度などの取り組みについて、ヒアリングやアンケートを通して意見や提案を集め、制度の改善などを行っています。また、こういった取り組みの経緯をまとめ、DSO加入機関に対してノウハウの提供を行っています。具体的な例として、産総研で2001年より開設している「一時預かり保育施設」について、導入した背景と経緯の情報提供を行い、DSO加入機関でも導入を検討しているところです。

2) 意欲触発

研究者を意欲触発する取り組みとして、現在は主にロールモデル（模範となる先輩）懇談会、キャリアカウンセリング、およびエンカレッジングセミナーを行っています。また、今後はこれらの取り組みのノウハウの蓄積や、女性研究者のマルチロードマップの提示も行う予定です。



ダイバーシティ・サポート・オフィス(DSO)
(DSO参画機関は2008年12月現在、加入順)



ロールモデル懇談会の様子

ロールモデル懇談会

定期的にロールモデルとの懇談会を開催し、またロールモデルのエッセイを集めた小冊子を発刊しています。多方面で活躍している女性研究者をロールモデルとしてお招きし、仕事と家庭の両立の経験談や苦労話などを語っていただき、参加者との意見交換を行っています。参加者は現在の生活のアドバイスを受けたりエールを送ってもらったりしています。内容は主に育児に関してが多いのですが、つらい事ばかりではなく育児を通して面白いことや楽しいこともあると気づくことがあります。そして同じ境遇の方々のネットワークを作り、情報共有を行っています。また、女性に限らず男性にも育児の面白さ楽しさをわかってもらう機会になるので、男性の育児参加が増え、女性研究者支援の一助となると考えています。

キャリアカウンセリング

キャリアカウンセリングのサービスは、キャリアパス、キャリアデザインや心理的問題など広範な相談内容に対応し、次のような機会を提供することを目的としています。

- 自分自身についてもっとよく知る
 - 目標の設定とその実現可能性を考える
 - 自分自身に対してより良い感情を持てるようにする
- このため、各個人が抱える特定のニーズに対応できるような体制に設計されています。

エンカレッジセミナー

研究者に、自分のキャリア、リーダーシップ、ワークライフバランスなどについて考える機会の1つとして、セミナー形式の場を提供しています。これまで次の内容のセミナーを実施してきました。

- キックオフ講座：産総研の男女共同参画室の紹介、ワークライフバランスの実践支援、キャリアカウンセリングの紹介

- リーダーシップ講座：リーダーシップ・スタイルの把握、コミュニケーション能力の自己診断など
 - キャリア講座：自分のモチベーションの源泉を探る、活き活きとした未来の描き方など
 - ストレスマネジメント講座：心理的ストレスのメカニズムとストレスマネジメントの方法および実習
- 今後も研究者を意欲触発し、役に立ち、受けてみたいと思えるようなセミナーを計画していきます。

3. まとめ

産総研では組織を超えた女性研究者支援をコンソーシアムスタイルで行い、女性研究者支援の広がりにも貢献しています。この試みにより、既に支援が進んでいる機関がもつノウハウの効果的な共有、支援対象者がまとまることによる効率の良い支援、少人数機関における支援の加速化といった効果が期待されます。意識触発を意識したセミナーや懇談会を開催することで、目的の意欲触発の効果のほかに、研究者間および男女共同参画事業のネットワーク作りも行っています。



ロールモデルのエッセイ集「先輩研究者からのメッセージ」



ロールモデル懇談会のポスター